

リモートセンシング政策検討ワーキンググループの設置について(案)

1. 設置の目的

「当面の宇宙政策の推進について」(平成 22 年 8 月 27 日宇宙開発戦略本部決定)にて取組方針の示された、地球観測衛星及び衛星データ利用促進を含め、リモートセンシングの総合的施策の推進に向けた専門的な調査検討を行うため、リモートセンシング政策検討ワーキンググループ(以下「ワーキンググループ」という。)を設置する。

2. 検討事項

ワーキンググループの検討事項は以下の通りとする。

- (1) 官民の役割と産業振興の在り方
- (2) 衛星の開発者・運用者と利用者間等の連携・協力強化の在り方
- (3) 衛星情報・データ等統合的利用基盤(衛星データ利用促進プラットフォーム)及び衛星データの配布等に関わるデータポリシー
- (4) 安全保障との調和の在り方
- (5) 国際貢献・協力及び海外展開の在り方
- (6) その他、リモートセンシングの総合的施策の推進に係る事項

なお、具体的な検討に当たっては、必要に応じ、関係者の出席を得て、検討を進めることとする。

3. 構成員

ワーキンググループの構成員は、宇宙開発戦略専門調査会座長(以下「座長」という。)が委嘱(当該構成員が宇宙開発戦略専門調査会の委員の場合にあっては、座長が指名)する。また、ワーキンググループに主査を置く。主査は、当該ワーキンググループの構成員のうちから、座長が指名する。

4. 庶務

ワーキンググループの庶務は、内閣官房において処理する。

5. その他

前各項に定めるもののほか、ワーキンググループの運営に関し必要な事項は、主査が定める。

(別添)

リモートセンシング政策検討ワーキンググループ 構成員 (案)

芦邊 洋司 株式会社日立コンサルティング 代表取締役 取締役社長

青木 節子 慶應義塾大学総合政策学部教授

落合 浩太郎 東京工科大学コンピュータサイエンス学部准教授

柴崎 亮介 東京大学空間情報科学研究センター教授

田中 克己 京都大学大学院情報学研究科教授

中須賀 真一 東京大学大学院工学系研究科教授

中田 勝敏 社団法人日本航空宇宙工業会 技術顧問

六川 修一 東京大学人工物工学研究センター教授

(五十音順、敬称略)

(任期:平成22年12月20日～平成24年12月9日)